



一緒に盛り上がり暑さを吹き飛ばそう！ 納涼会開催

8月9日(土) 17時～19時30分
サンパルネ・コンベンションホール

昨年の納涼会は、会員の皆様のご尽力により、101名の参加のもと盛大に納涼会を開催することができました。普段多忙により会の活動に参加出来ない方々も、真夏のひととき、暑さを忘れ会員との親睦を深めるため、是非ご参加下さるようお願いいたします。会員のご家族の参加也大歓迎です。

今年は、アトラクションとして、早稲田大学ハワイ民族舞踏研究会の学生によるハワイアンダンス、市内音楽団体による演奏、賞品付きのゲーム、美味しいお食事等を用意し会を盛り上げるよう企画しております。

又、納涼会において、毎年皆様にご協力頂いている、稲門祭記念品の申し込みを実施致します。記念品の収益は、全額が「校友会奨学金」として多くの奨学生を育ててきました。今年も多くの奨学生に皆様のお気持ちが届けられるよう、ご協力の程よろしくお願い致します。



会費 会員 4,000円 会員ご家族 2,000円

本会のお問い合わせについては、担当 山本岩男までお願い致します。

Tel 042-391-7976 E-mail: yamamoto.i@jcom.home.ne.jp

会からのお知らせ

○ 平成26年8月 定例役員会

日時 : 8月9日(土) 14:00～16:00
場所 : サンパルネ・コンベンションホール
17時から納涼会があります。

○ 他稲門会関係

6月22日(日) 東大和稲門会総会 當間会長 大内副会長 山本副会長出席

☆ 赤荻洋一氏 稲城稲門会総会で講演

赤荻洋一氏(当会幹事 昭40商卒)は、6月15日に開催された稲城稲門会総会で講演をされました。

昨年同時期に会員の藤澤博恭氏が同じ会場で講演し好評だったことから今年も是非との申し出があり、赤荻氏には快く引き受けていただきました。

演題は「鉄道の雑学とヨーロッパを訪ねて」でした。市民の方にも開放しての講演で、映像を交えて分かり易く説明され、我が東村山稲門会の存在を大いにアピールしました。

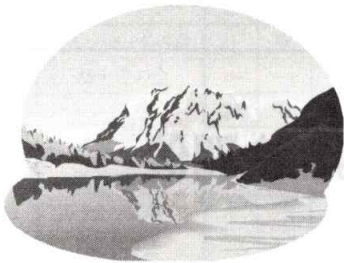


<第86回雑学講座報告>

「ヨーロッパアルプスと高山植物」

平成26年6月7日(土) 於：ふるさと歴史館 視聴覚室

講師 高橋正夫氏(稲門会会員 S35政経卒)



アルプスと聞けば何を連想しますか。当然スイスそしてモンブランやマッターホルン、アイガー北壁といったアルプスを代表する山々。それにエーデルワイスの花、エーデルワイスと言えば映画「サウンド・オブ・ミュージック」、それにアニメ「アルプスの少女ハイジ」も思いうかべます。「ハイジ」と言えばアルプスの山麓に広がるのどかな牧草地といったところでしょうか。



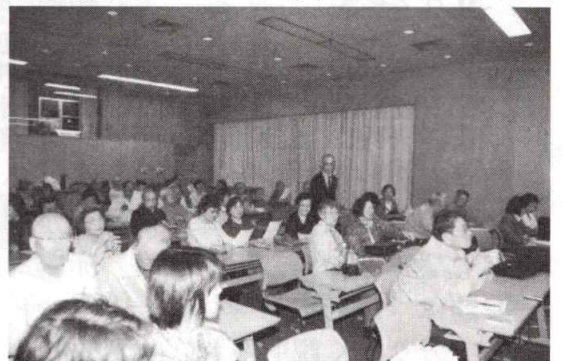
今回の雑学講座は「ヨーロッパアルプスと高山植物」。講師は稲門会会員の高橋正夫さん。高橋さんは仕事で40回以上もスイスを訪れ、休みの日にはアルプスの景観を楽しんだとのこと。

スライド写真と地図を使いながら観光ルートでは見ることができない山々や、珍しい高山植物など、アルプスの魅力を紹介していただきました。講座の参加者は65人。高橋さんが撮影した写真を見ながら話に聞き入っていました。アルプスと言えばスイス、そしてヨーロッパ大陸の平野部にドーンと高い山々がそそり立っている、ロストワールドのような感じと思っていました。しかし高橋さんによりますと、アルプスはフランス、スイス、イタリア、オーストリアそれにスロベニアの5カ国にまたがる東西1,000キロにおよぶ山脈で、ヨーロッパアルプスというのが正しい呼び方で、スイスアルプスはその一つだそうです。雪が溶け、暖かくなるとエーデルワイス、アルペンローゼ、リンドウなどが一斉に花を開き、アルプ(牧草帯)ス是一面のお花畑になります。話はアルプスをめぐる歴史的なエピソードにも及びました。

アルプスを南北に横断する道はいくつかありますが、中でもスイスとイタリアを結ぶグラン・サンベルナルド峠は、歴史とロマンに満ちていました。古代ローマ帝国時代、ローマと覇権を争っていたカルタゴの名将ハンニバルが象をともなってこの峠を越え、ローマ軍を急襲。不意を打たれたローマ軍は雪崩を打って敗走しました。また19世紀にはナポレオンがこの峠を越えイタリアに侵攻しました。

ところでドイツの名門万年筆やケーキの名にもなっているモンブラン(4,810m)は、フランスとイタリアの国境にそびえています。高橋さんはこのモンブラン山系を一周するコースのトレッキングに挑戦し、さまざまな角度から山の姿を写真に収めています。トレッキングの道程には標高2,500mを超える難所もあり、天候の急な変化で危ない目にあったこともあるそうです。トレッキングには、豊富な知識と経験が必要なようです。私たちの年齢、体力、経験不足を考えれば、軽いトレッキングを含む観光ツアーでも、アルプスのだいたいを十分に味わえるとのことでした。

かく言う私も去年の9月、10日間(正味8日間)のツアーでスイスに行ってきました。さすが観光立国スイスだけあって、山岳鉄道網やロープウェイなどが充実していて、山の頂上近くまで簡単に行け、アルプスを満喫できました。この旅行は編集し49分のDVDにまとめていますので、アルプスに興味をお持ちの方や、これからスイス旅行でもとお考えの方には差し上げますので、木野までご連絡ください。

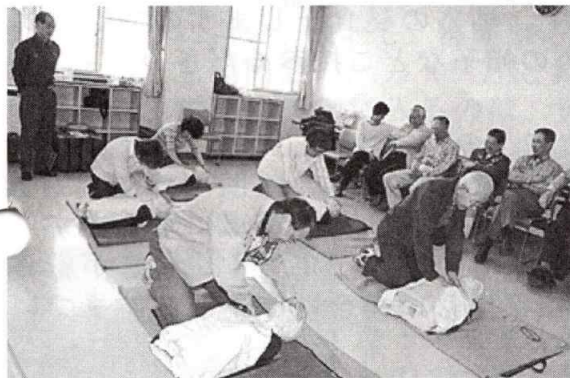


(木野 友博 記)

☆☆ 救命講習会及び関連講演報告 ☆☆

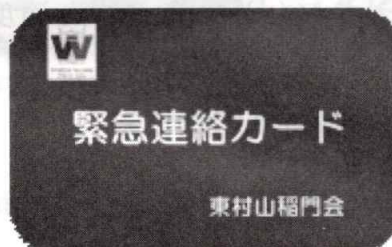
平成26年4月24日(木)：午後1時～5時迄、東村山市民センター2階第3会議室で、『救命講習会及び関連講演』が行われました。當間昭治会長夫妻以下、会員及びご家族26名が参加されました。

全員が大変真剣に又老骨に鞭打って？汗を流しつつ、声を張り上げ、元氣よく受講致しました。今回は、『東村山消防署』・『東京防災救急協会』及び『東村山社会福祉協議会』の講師の方々に厳しくも、親切丁寧に色々ご指導を頂き、あっという間の時間でしたが、終わってみれば全員に何か笑顔がこぼれ、久しぶりに若返った感が致しました。



内容は成人・幼児の心肺蘇生法・AED（自動体外式除細動器）等の取扱要領と実技を行い、講演は、地域防災・警防及び救急活動、各家庭の家具転倒防止・火災・煙探知自動警報装置安全管理、地域高齢者住民福祉活動等々詳細な現場の有意義な話でした。特に【AED】については、操作が必要になった時に活用できるようにしっかり体験と訓練をいたしました。

更には、小菅幹事の労作『東村山稲門会携帯緊急連絡カード』①及び社会福祉協議会の『あんしんネットワークヘルプカード』②の適正な使用とその効果の説明が有りました。ヘルプカードを持っている方は支援を必要としています。



①



②



③

困っている時に会ったら、「支援が必要かどうか」の声を掛けることを要請されました。受講者には東京消防庁 消防総監から『救命技能認定証』③が発行されました。

時には、思い出の『救命講習テキスト』を開いて "頭と身体"を"Brush Up"されることを願ってやみません。今後も会員皆様の要望に応じまして再度計画したいと思います。

受講者（敬称略）：青山、赤荻、大内、風間、倉田、紅松(容)、小亀夫妻、小菅夫妻、小林(傳)夫妻、小林(裕)、滝川(桜)、滝川(正)、月森、當間夫妻、戸田、内藤、中村(真)、福田(昇)、山本、吉田(勝)、池田夫妻。

東村山稲門会ホームページのブログ欄でカラーでご覧いただけます。

上記の緊急連絡カードを同封しました。外出中に倒れた時或は不慮の事故などに遭遇された時に本人確認や救急車が病院を探すのに大変役立ちます。

全てを記入する必要は有りませんが、氏名、年齢、性別、連絡先は記載することをお勧めします。

「記載内容」と「携帯する・しない」は、ご自分の責任に於いて行ってください。

(記：池田 孝、小菅宏、写真：赤荻一)

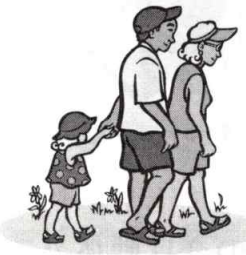
同好会だより

当会会員の方は、いずれの同好会にも自由に参加できます。

ウォーキングの会

世話人 高橋 正夫
阿部 茂

TEL 042-309-3407
042-332-0298



「亀戸天神から両国周辺の見所を巡る」

東京23区再発見シリーズの続編です。今回は亀戸駅より、天神一香取神社一勝海舟住居跡一吉良上野介邸跡一相撲部屋廻り一回向院一都慰霊堂・復興記念館一旧安田庭園一両国国技館と盛り沢山の見所を周ります。お奨めは999円の中華バイキング昼食で食べきれないほどの品数の豊富さ、味、質ともに横浜をはるかに上回ります。早めの昼食としますので、朝は軽くしてご参加ください。暑さ対策として日傘・縁の広めの帽子などご持参ください。

日時：7月21日(海の日)

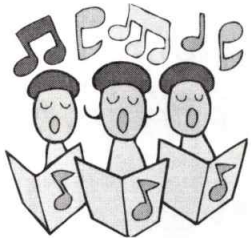
集合場所：東村山駅上りホーム中程に午前8時50分までに集合

(56分の電車に乗ります)

暑さに向かう折、ゆっくり歩きますので、帰りは両国駅16時頃の予定です。暑さが厳しい場合は中途をカットすることもあります。当日、空模様が怪しい場合には午前7時までに高橋宛てにご確認ください。

音楽同好会

世話人 市川 彰彦 TEL 042-308-8181



本格的な夏の到来まじかです。夏バテに備えておいしい食べ物と適度な運動、そして音楽です。音楽はストレスの解放に大きな役割をします。音楽療法士はどんなこと言っているのか私には分かりませんが、私自身は血圧が音楽、とりわけ歌った後は、10、20下がると信じています。

さて前回の音楽同好会には次の方々が出席しました。

江藤、滝川(正)、守屋、重原、高橋夫妻、小亀夫妻、吉澤勇、吉澤雅子、伊藤、沼田、市川夫妻(敬称略)。

次回は秋の曲を集めます。例えば歌集から北上夜曲、さくら貝の歌、知床旅情、誰もいない海など、世界民謡(ロシア、英国、ドイツ他)それから篠笛やオカリナで日本の古歌を紹介します。

パソコン同好会

世話人 小菅 宏 TEL 042-391-0219
福田 昇七 042-391-9726



額紫陽花(ガクアヲサイ)

Aクラスは「自分で撮影した写真を使ってフォトアルバムを作る」を継続して、挑戦中です。写真に説明を入れる方法としてのテキストボックスの使い方(文字の書体、大きさ、色、背景を透明に又はグラデーションを付ける)を復習・勉強しました。

Bクラスは6月から、新講座「デジカメで写真を撮り、ムービーを作る」に入りました。6月7日は、デジカメの基本的な使い方、デジカメで撮った大切な写真データを整理して保存(取り込み)を勉強しました。

次回は、「写真の加工、写真に文字を入れる」を予定しています。新規の参加者もお待ちしております。

参加者 敬称略(下記以外にシルバー人材センターの講師2名がおります)

Aクラス 三宅、森本、月森夫人、小菅夫人、野田夫妻(講師)

Bクラス 當間、福田、山本、高橋(正)、赤荻、紅松(容)、滝来、小菅(講師)

当面の日程は、8ページの「同好会 短期予定表」を参照ください。

東村山稲門会ホームページの「スケジュール」でもご確認ください。

早稲田スポーツを応援する会

世話人 小亀 輝雄 042-394-6951
大内 一男 042-393-6543



先週末の早稲田スポーツは熱いものでした！

——守屋幸一郎氏のスポーツ観戦報告より——

5月31日土曜日は稲門会の方々と神宮で優勝のかかった六大学野球早慶戦、そして翌日は、上井草でラグビー春季大学大会/対中央大戦を炎天下、選手達の奮闘に負けぬよう、ハラハラドキドキの応援観戦を堪能する事となりました。いやー、兎に角、暑い、暑い観戦となりましたが、試合後の冷たいビールの美味しかったこと格別でした。

○野球は、早稲田の4シーズン振りの優勝確実と思われていたのですが、慶応の魂の熱いチャレンジに逢い、敗北し、優勝旗を手にする事は出来ませんでした。秋季に期待しましょう。それにしても稲門会の尽力(?)により、何と、何と、学生応援席での応援観戦となりました。私にとり、学生応援席に入るのは、昭和40年秋以来なので、49年振りの快挙(?)となった次第です！懐かしい学生時代の郷愁に浸れるのかと思いきや、立ったり座ったり、肩を組んだり、校歌や紺碧の空等応援歌の数々を歌いながらの応援で、もうクタクタ、体力の衰えとさを痛感する一日でした。疲れしました！



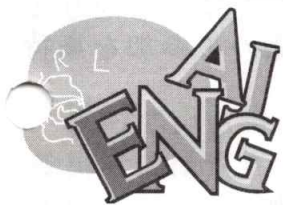
○ラグビーは、中大を87対3のノートライに押さえての、完勝で、春季大学大会を3連勝し、6月末の優勝を賭けた帝京大戦が楽しみに、なって来ました。チーム全体としての真の強さには、まだまだの状況なのですが、ここに来て、漸くスピーディーの試合運びが出来るようになり、楽しみなラグビー部になって来ました。

春のシーズン前には、競走部や野球部に比べて、戦力ダウンが著しいラグビー部には、厳しい見方が多かったのですが、この頑張りには、高い評価をあげても良いと思っています。

早慶戦参加者(敬称略) 大内 小亀夫妻 小林 高橋 滝来夫妻 守屋 山本
ラグビー参加者(敬称略) 高橋 滝来夫妻 守屋

グローバルサロン英語の会

世話人 滝川正義 小亀輝雄 池田孝 山本岩男



6月17日サンパルネ会議室で第3回を行いました。

(1) LISTENING: WELCOME TO AMERICA: 今回から単語の解説をいれた。(2) SINGING: テネシーワルツ、LOVE ME TENDER を合唱。(テネシーワルツは、納涼会で合唱する予定)。(3) GUEST SPEAKER: 重原先生の「私とドイツ語とゲーテの魔王」の詩の朗読。先生は、台北のお生まれで初期の早大の女子大生になりドイツ文学を学ばれ、その後ご主人のミュンヘン大学赴任に同行して再度ドイツ語を学ばれた。お元気でお若い声の朗読に魅了された。

(4) WRITING: 基礎英語過去形、次回は否定形の作文。

(5) SPEAKING: 場面英会話ホテルルーム、次回はルームサービスの活用と1分間スピーチの予定、

(6) 羽田空港の国際化: 4月より16ヶ国23都市へ出発でき成田に代わり日本の空の玄関として今後の急速な拡大が求められる。(7) 身近な英語: "BE MADE OF"~で出来ている(材料)見目で分かり原形をとどめている。THIS HOUSE IS MADE OF WOOD、"BE MADE FROM"~から作られている(原料)見目では分らず原形をとどめず。WINE IS MADE FROM GRAPE。参考: 複数の原材料を使って1つの完成品ができるケースはどちらを使ってもよい。

出席者(敬称略): 赤荻夫人、大野恵子、木野友博、倉田哲也、小林裕子、重原眞知子、

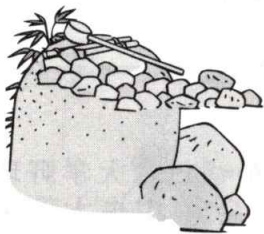
滝川桜子、當間昭治、中村真弓、宮元祥史、守屋幸一郎、吉澤 勇、世話人3名

次回は7月15日(火)市民センター第4会議室 午後2時~4時30分、

8月19日(火)サンパルネ 2F 会議室 午後2時~4時30分 (滝川 正義 記)

俳句同好会（稲酔会）

世話人 井垣和太 04-2924-2934



第74回「稲酔」俳句会は、6月28日（土）に「丸藤」2階で開催いたしました。（偶数月第4土曜日が定例会日です。）

梅雨も終盤に差し掛かり、蒸し暑さも増してきましたが、元気な姿を見せたのは、栗島三郎、井垣稲雀、幸田瑞雄、内藤慎、山下波雲の5名。投句参加は、出田麦穂、風間和夫、菊田一平、高部糸行、戸田梶、八木竜湖の6名。合計11名の兼題「短夜」を含む5句を出し、互選をして勉強をしました。

次回第75回「稲酔」俳句会は8月23日（土）に「丸藤」2階で開催いたします。

兼題は「踊」です。俳句では盆踊りのことですが、音頭取、踊、踊子、踊浴衣、踊笠、踊太鼓、踊見、念仏踊、灯籠踊り、辻踊、木曾踊、阿波踊、おけさ踊、さんさ踊、豊年踊、踊唄、エイサー、盆唄、などなど、場面、在所に合わせた言葉がたくさんあります。

句ひ来る早稲の中より踊かな 言 水
見知りたる背中どやする踊かな 北 枝
六十年踊る夜もなく過しけり 一 茶

（稲雀 記）

カラオケ同好会

世話人 内藤 慎 042-393-4293



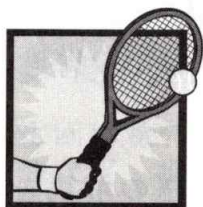
6月例会は、会員間の連絡が上手くとれず、流会状態となりましたが、雑学講座後の懇親会に居合わせた山本岩男さんと、井垣和太の2名、それにカラオケ同好会には初めてという吉澤勇、雅子夫妻の4名が、東村山駅前のシダックスで、たつぷりと2時間楽しんで来しました。

カラオケは初めてとかの吉澤夫人が、時間が経つにつれ持ち前の美声と、テクニックで、どんどん点数を上げ、みごとに当日の最高点をゲットするなど、日頃うるさい山本、井垣両名もかたなしといったところでした。

次回は7月5日（土） カラオケ家 19:00より。8月は休会です。（K. I 記）

テニス同好会

世話人 田島隆夫 TEL 042-396-7676



6月の例会は、11日（水）に予定していましたが、雨のため中止となりました。当初、4日（水）に予定していたのですが、参加状況を聞き取りし、最も参加者の多い11日に変更したところ、雨で中止と言う残念な結果となりました。次回は、7月20日（日）です。休日なので多くの皆様のご参加を期待しています。

《投稿》

歌麿と栃木

戸田 志郎 （S43法）

先日（5月13日～14日）東村山稲門会の旅行に参加した。那須温泉に宿泊したが、途中「栃木」に立ち寄る。そこで、江戸時代中期、美人画の大家・浮世絵師「喜多川歌麿」と栃木に大変な接点があることを知った。

さらに、展示場で知ったことであるが、歌麿の肉筆画「雪月花3部作」のうち行方不明であった「深川の雪」が、66年ぶりに表舞台に登場したことが、テレビ等で放映され話題を呼んでいたという。まさにサプライズであった。

「雪月花」は、日本の四季の自然美を表す代表的なものであり、「春の桜」「秋の月」「冬の雪」などとして、勝川春章、歌川豊春、北斎、広重も風景画や風俗画、肉筆画の素材としていた。桜で有名な吉原、秋の月が美しい品川、冬景色で客をよぶ深川の茶屋は、江戸の名所でもあった。

歌麿の「3部作」は寛政中期から文化にかけ、栃木の善野家や有力者が歌麿を招き、制作されたといわれている。とちぎ蔵の街美術館のパンフレットによると、「喜多川歌麿は、栃木の豪商、釜喜の4代目善野喜兵衛と親しく、その叔父にあたる善野伊兵衛の依頼で、肉筆画の大作「深川の雪」、「品川の月」「吉原の花」（「雪」「月」「花」）を描いたと伝えられている」と

書かれている。栃木は江戸時代に京都から日光東照宮への奉幣使が毎年通る例幣使街道の宿場町としてまた江戸へ通じる巴波川（うずまがわ）の船運の要所としても栄えていた。

明治12年（1879年）、定願寺（現在の栃木市旭町）の展示会で3部作が展示された後、明治20年代に入り、いずれも海外に流出。「品川」と「吉原」は現在アメリカの美術館へそれぞれ収蔵されている。

「深川の雪」のみ、その所在が不明だった。フランスの浮世絵研究家の手を転々と経て、1939（昭和14）年に浮世絵収集家・長瀬武郎が日本へ持ち帰ったことはわかっていた。だが、1948年、東京松坂屋の展覧会に3日間だけ出品された後、今日まで、その行方は杳（よう）として知れなかった。

2012（平成24）年2月、日本国内で発見され、表紙がボロボロになった「深川の雪」が、岡田美術館（神奈川県箱根町）へ持ち込まれ、修復された。

現在、3部作の原本は、栃木を離れ、「品川の月」は、フリーア美術館、「吉原の花」はワズワース・アセーニウム美術館に、そして今回発見された「深川の雪」は岡田美術館に所蔵されており、この栃木には複製画のみが展示されている。

「品川の月」は、品川の食売旅籠屋（めしうりはたごや）の中でも最も栄えた相模屋忠兵衛の旅籠屋を描いたものといわれている。相模屋は外壁が海鼠壁であったため、土蔵相模と呼ばれていた。海を見下ろす豪壮な屋敷の二階での遊宴の様子が描かれている。中央に前帯打掛姿の女性が立ち、その奥には女性三人による三曲（三味線・琴・胡弓）が行われている。左手前には文を書く女性、右側手前にはお椀を運ぶ女性などが描かれている。鴨居には、四方赤良（よものあから）こと、大田南畝の狂歌額「てる月の鏡をぬいて樽まくら 雪もこんこん 花もさけさけ 四方赤良（印）」がかけられている。お椀を運ぶ女性に話しかけている女性の着物の紋は「九枚笹（くまいざさ）」という善野家の家紋。歌麿は依頼主の家紋を描き込む。

「吉原の花」は吉原仲の町に面した引手茶屋が描かれ、多くの女性が集い、花見時の風情を楽しんでいる。左手前には八つ橋模様の打掛を着た花魁を先頭にした一行、中央には緋毛氈に座る浜千鳥の打掛を着た花魁がいる。二階では「娘道成寺」の花笠踊りを武家の女中とおぼしき人たちが見学している。

66年ぶりに登場した「深川の雪」は雪の中庭を望む深川の茶屋の二階で、火鉢を囲む女性たち、奥の座敷で芸者遊びをする女性たち、通い夜具と思われる大きな風呂敷包みを背負った女性などが描かれている。

浮世絵研究家の内田千鶴子は次のように評す。

見て、まず驚いたのは、巨大な画面とその構図であった。大和絵によく使われる雲を、画面の上と下に薄い藍色で横長に引き、松・竹・梅の木々に雪が積もった中庭を見渡せる長い廊下を前景に置く。廊下を回る横の座敷と、奥の二階の座敷まで見通せるよう、直線、平行線、斜線等を用いた幾何学的構図が新鮮だ。

二つ目に、室内空間を大劇場の舞台のごとく明るく見立てた点である。柱は薄紅色、廊下は薄黄色といずれも淡い色を用いている。その廊下を料理膳や夜具が入った布団袋を運ぶ仲居、横の座敷では大火鉢を囲み、庭の雪を眺めるなど楽しげに語り合う遊女たち。

二階座敷では、化粧直しに余念のない女、さらに、拳に興ずる深川芸者たちの生き生きと、きびきびとしたその姿、総勢27人。そこにはきっぱりとした、いやみのない深川独特の意地すら漂う。

内田千鶴子は、歌麿の「深川の雪」制作の狙いは、茶屋の空間構成や、その周りの情緒的な自然美と、そこで働く遊女や芸者の人工美とを融合させたかった。その根底に、美人首絵を断念させた寛政の改革への精いっぱい抵抗と、渾身の絵師魂を読み取れるのではないかという。

歌麿人氣が江戸で高まると同時に、庶民のぜいたくを禁ずる政策をとる当時の江戸幕府は、「歌麿の絵は世を乱す」として制約を申し渡す。しかし、歌麿はそうした圧力を巧みにかわしながら制作に励む。「豊臣秀吉」を題材にした作品が幕府の逆鱗に触れ、手鎖50日の処罰を受ける。その心労と過労のためか、2年後に歌麿は54歳の生涯を閉じた。

喜多川歌麿の「3部作」（複製画）が展示されていた栃木市役所の1階部分は東武百貨店という驚くべきコラボであった。

同好会等 短期予定表

同好会・行事	7 月					8 月					世話人 (問合せ先)
	日	曜	時間	場所	備考	日	曜	時間	場所	備考	
ウォーキングの会	21	祝	8:50	東村山駅上りホーム		—	—	—	—		高橋正 042-309-3407
郷土史の会	—	—	—	—		—	—	—	—		高橋正 042-309-3407
テニス同好会	20	日	9:00~11:00	久米川コート3		17	日	9:00~11:00	久米川コート3		田島 042-396-7676
	23	水	9:00~11:00	久米川コート3	予備日	*	*	*	*	予備日	
囲碁同好会	—	—	—	—		16	土	13:00~	市民センター別館		高鷺 042-394-2336
カラオケ同好会	5	土	19:00~	カラオケ家		—	—	—	—		内藤 042-393-5071
園芸の会	—	—	—	—		*	*	*	*		當摩 042-396-3033
麻雀同好会	—	—	—	—		—	—	—	—		阿部 042-332-0298
音楽同好会	—	—	—	—		—	—	—	—		市川 042-308-8181
俳句同好会	—	—	—	—		23	土	14:00~	「丸藤」2階		井垣 04-2924-2934
ゴルフ同好会	—	—	—	—		—	—	—	—		紅松 042-393-6924
グローバルサロン英語の会	15	火	14:00~16:30	市民センター2階		19	火	14:00~16:30	サンパルネ会議室		滝川正 042-394-8187
早稲田スポーツ応援の会	—	—	—	—		—	—	—	—		大内 042-393-6543
パソコン同好会	5	土	10:00~12:00	シルバー人材センター	勉強会	9	土	10:00~12:00	シルバー人材センター	勉強会	小菅 042-391-0219
	26	土	13:00~15:00	シルバー人材センター	勉強会	23	土	13:00~15:00	シルバー人材センター	勉強会	
	26	土	15:00~16:00	シルバー人材センター	相談会	23	土	15:00~16:00	シルバー人材センター	相談会	
雑学講座	—	—	—	—		—	—	—	—		當間 042-391-6023

— : 対象月に開催予定無し * : ニュース編集時点で未定。詳細は世話人にお問合せ下さい。

編集局だより

○ 今月号も記事満載。早稲田の歌人たち(7)は来月号掲載となります。ご了承ください。

○ 先日、仕事で熊本に行く機会がありました。ご多聞に漏れず、かの地でも地域産業振興に躍起となっております。日本の産業力の復活は待った無しです。政府の実効ある経済成長施策の強力な推進にホントに期待したいです。それにしても、天草から来た新鮮な魚は最高でした。

○ いよいよ梅雨本番。この頃の梅雨はしとしとではなく、豪雨と土砂崩れとヒョウと雷。かんべんしてください。ここは自分でまもるしかありません。皆様、ご自愛を。

○ 次号の締め切りは7月26日(土)です。よろしくお願いいたします。(當摩 照夫)

Fax : 042-396-5698 email : teruo_tohma@ozzio.jp

俳 壇

ざっと降りかると照りつけ街は夏至
螢火を頼りに急ぐ家路かな 高部 糸行

花菖蒲翁たたずむ池の端
ドクダミやぼつりぼつりと白十字 戸田 梟

五月雨に孫よ負けるな滑るなよ
草餅や車に榮えて過ぎし街 内藤 慎

植田道逆さ校舎に入る児童
たまたまに草笛吹けば鳴りにけり 八木 竜湖

半夏雨けぶる四万十下りかな
号砲や白夜の城に鼓笛隊 山下 波雲

初夏の風器用に心通り抜け
白壁の白さ眼を射る夏日かな 栗島 三郎

父の日の妻と娘の長電話
脱ぎきれぬ朝もどかしや竹の皮 井垣 稻雀

青田風里に降り立つ西武線
畦道をただ歩きをり夕涼し 出田 麦穂

短夜やうつろな妻の生返事
跡継ぎの決まりし主端居かな 風間 和夫

お昼寝の夢にダイオウグソクムシ
七つ目の皿もこはだにするつもり 菊田 一平

ひよどりの一声今朝は五月晴れ
琴の音を紫風に乘せて菖蒲祭 幸田 瑞雄